令和２年度第１回「千葉市農政推進協議会」議事録

１　日　　時　　令和２年８月４日（火）
　　午後２時００分から午後３時３０分

２　場　　所　　千葉中央コミュニティセンター８階　千鳥・海鴎

３　出 席 者

委　員：１３名

藤代武治会長　　加藤康幸副会長
清宮惠理子委員　竹下洋一委員　　大塚不二男委員
加藤裕市委員　　石出博子委員　　斎藤昌雄委員
榎本雅之委員　　高橋義男委員　　川村浩一委員
実川文子委員　　今井由紀子委員

事務局：１２名

農政部長（表谷）　　農政センター所長（高須）
農政課長（石出）　　農地活用推進課長（岡本）
農業生産振興課長（圓城寺）
農地活用推進課農地保全班主査（原田）
農地保全班（水野谷）
農業経営支援課担い手育成班主査（金子）
担い手育成班（中澤）農政課長補佐（中坂）
企画班主査（柴田）　企画班（関下）

４　議　　題

（１）　会長及び副会長の選任について
（２）　第３次千葉市農業推進行動計画の進行管理（令和元年度）について
（３）　千葉市農業振興地域整備計画の全体見直しの進捗状況について
（４）　千葉市農林業成長アクションプランについて
（５）　その他報告事項について
　・千葉ウシノヒロバについて
　・森林環境譲与税について
　・令和元年度台風１５号等による被害について
　・新型コロナウイルスに係る農業者等への支援制度について
（６）農業経営改善計画について

５　議事概要

（１）　藤代武治委員が会長に、加藤康幸委員が副会長に選任された。

（２）　事務局より第３次千葉市農業推進行動計画の進行管理（令和元年度）について説明し、了承を得た。

（３）　事務局から千葉市農業振興地域整備計画の全体見直しの進捗状況について報告した。

（４）　事務局から千葉市農林業成長アクションプランの状況について報告した。

（５）　事務局よりその他報告事項（千葉ウシノヒロバ・森林環境譲与税・令和元年度台風１５号等による被害・新型コロナウイルスに係る農業者等への支援制度）について報告をした。

（６）　事務局より農業経営改善計画について説明し、了承を得た。

６　会議経過

会議は、農政課課長補佐の司会進行により行われ、開会に先立って、委員１３名の出席を得ているため、千葉市農政推進協議会設置条例第５条第２項の規定に基づき、会議が成立している旨が告げられた。

続いて、議題１から５については、個人情報等が含まれていないため、会議は公開、議事録は公表され、議題６については、個人情報が含まれているため、会議は非公開、議事録は非公表とする旨が告げられ、そののち、農政部長が挨拶を行った。

続いて、委員の改選があったため、農政課課長補佐が出席委員及び所管課長以上の事務局職員を紹介した後、開会宣言が行われた。

続いて、会長及び副会長が未選任のため、仮議長を選出し、仮議長のもとで議事録署名人及び会長を選出することになり、仮議長の選出については事務局に一任されたため、事務局が加藤康幸委員を指名し、仮議長に選出された加藤委員から、清宮惠理子委員と実川文子委員の２名が議事録署名人に指名された。

議題１　会長及び副会長の選任について

会長選任については、仮議長より藤代武治委員を会長にと推薦があり、全員これを了承したため、藤代委員が会長に選任され、挨拶を行った後、条例第４条第３項に基づき藤代会長が議長となった。

副会長の選任については、全会一致で藤代会長に一任されたため、藤代会長が加藤康幸委員を指名し、全委員これを了承、加藤委員が副会長に選任され、挨拶を行った。

議題２　第３次千葉市農業推進行動計画の進行管理（令和元年度）について

事務局(農政課　石出課長)が、第３次千葉市農業推進行動計画の進行管理（令和元年度）について説明を行った。
続いて、以下の質疑応答があった。

【加藤（裕）委員】
有害鳥獣対策については評価Ａであると私も思います。もう一つのＡ評価の農政センターの技術職の職員はここ何年か採用がなく、試験も非常に少ない。スマート農業については、農政センターでは植物工場で大変な損害が起きていると思うが、それに近いようなスマート農業を続けていくにあたって十分に慎重に取り組んで欲しい。
【石出課長】
農政センターの技術に関する評価についてのマイナス面は自覚しております。評価して頂きたいのは、「ちばＧＡＰ」をとったところです。センター自ら取得して、みなさんが取得する際のアドバイスになるだろうと思います。そちらを評価して頂ければと思います。スマート技術に関しては、今後人手が少なくなり、高齢化が進む中、農業界全体で取り組んでいくことになる内容であります。千葉市にあったものを選択し、取り入れていければと考えています。

続いて、藤代会長が議事に諮り、反対意見なく了承された。

議題３　千葉市農業振興地域整備計画の全体見直しの進捗状況について（報告）

事務局(農地活用推進課　農地保全班原田主査)が、千葉市農業振興地域整備計画の全体見直しの進捗状況について、報告を行った。
続いて、以下の質疑応答があった。

【加藤（裕）委員】
　樹園地が非常に少ないように感じますが、農業委員会で確定した数字でしょうか。
【原田農地保全班主査】
　農地台帳の記載内容と、必要に応じて登記簿を取り寄せ確定させた数字です。

議題４　千葉市農林業成長アクションプランについて
　事務局(農政課　企画班柴田主査)が、千葉市農林業成長アクションプランについて状況を報告した。
　続いて、以下の質疑応答があった。

【藤代会長】
　資料が多いので、後日Ａ４版程度の用紙にまとめて頂くことは可能だろうか。
【石出課長】
　わかりました。後日作成して皆さんのお手元にお届け致しますので、何かあればご意見頂けると有難いです。
【清宮委員】
　資料が多いので事前に送付して頂くことは可能でしょうか。
【石出課長】
　申し訳ありませんでした。
　事後になりますけれども、資料を読んで頂いて然るべきタイミングでご意見頂けると助かります。

その他の質疑はなく、続いて、藤代会長が議事に諮り、反対意見なく了承された。

議題５　その他報告事項（千葉ウシノヒロバ・森林環境譲与税・令和元年度台風１５号等による被害・新型コロナウイルスに係る農業者等への支援制度）について
　事務局(農政課　中坂補佐)よりその他事項について報告を行った。
続いて、以下の質疑応答があった。

【斎藤委員】
　お願いがあるのですが、台風１５号の国の補助金を利用した施設の復旧についてですが、私の牧場も被害を受けてやっと補修が終わったところなのですが、当初国のほうも県、市もこの被害によって農家が廃業したりしないようにと積極的に補助をするといった形でスタートしたと思います。非常に事前準備する書類や項目が増えているんですよ。千葉市の農業の場合、小さい規模が多いため、要求するハードルが高すぎると思います。申請していても途中で諦めてしまったり、嫌になってしまう。非常に時間がかかるということで、私たちにとってはとにかく被害を受けた施設を少しでも早く使えるようにするというところで、それが１番の目的なわけですから、そういった事務上の手続きによって時間がかかりすぎるというのは今後検討して頂きたいと思います。担当の窓口は市になると思うんですけど、農家の方々は書類に詳しくないんですよ。私たちとしては、現場に見にきてほしいわけですよ。見に来れば、どういったところが補修になっているかわかるんですよ。千葉市の場合、まだ４０％。もう梅雨に入ってもう台風がきてしまうんですよ。何のための援助なのか。そしてもう１つ大きな問題が、補助事業でかかった補修費については生産者が一時的に立替して支払わなければならないんですよ。そうすると、非常に金額が大きくなるんですよ。金額が大きい場合に農家が金融機関からお金を借りるのは非常にハードルが高いんですよ。それができなくて、諦めてしまう方もでてくるんですよ。決定したものについては３月に補助金が入ってくるということですが、もう少し市でも農家がそういった資金を用意できるような仕組みを考えて欲しいんです。千葉県は災害の規模が大きく、今後も可能性が考えられますよね。今後はスピードを重視して現場に合った仕組みを考えて欲しいんです。
【圓城寺課長】
　農業用施設の復旧について約１６億円で、今までにない被害金額になって、委員の仰る通り、時間がかかっているということで、大変申し訳ございません。農政部２０人体制で取り組んでおりまして、一刻も早く復旧できるように支援等して参りますので、引き続きよろしくお願い致します。また、国の事業を活用できなかった方には、市単独の事業ですとか、長期停電で被害を受けた方々に対して新たに市単独で支援するというところで皆様方からの要望を受けながら支援をしておるところはご報告させて頂きたいと思います。それから現在復旧率４０％ですが、現場工事等が竣工した皆様方か

ら実績報告を挙げて頂きまして事務手続きを進めているところです。ご指摘の通り、事業上は一時全額支払って頂き、精算払いというのが基本になっております。困っているという要望は重々承知致しましたので、今後、県とも検討・協議して参りますので、またご報告させて頂きたいと思います。

【表谷部長】

よく現場からは書類を提出する量が多いということで意見を頂いておりますが、今回コロナの関係に関しては、国の方でもかなり書類を減らす努力していて、かなり申請しやすい環境になっております。今回災害の方にも還元できるような形でやって頂けるように、しっかりと意見として伝えたいと思いますし、県ともしっかりと連携しながらやっていきたいと思います。

【斎藤委員】

私たちも、どうしてどんどんハードルが高くなってしまうのかどうしてこんなにも進まないのかということで、これはやはり県の方ですかね。県の議員さんとかあと国の方は国会議員の先生方に聞いてもらうと、予算をとってあるはずだから、県からどんどん意見を言ってもらえればと。九州なんかの同業者に聞くと、九州なんかはもっと積極的に動いてくれるんですよね。こういうときこそ、もっと真剣に、現場にもっとどんどん行って血の通った仕事をしてもらいたいというのが本音だと思うんですよね。

【表谷部長】

仰る通りです。災害とか緊急時に昨年度の反省点等を踏まえながら事前準備等をしているところですが、実際災害が発生した時を含めて対応して参りたいと思っております。

【斎藤委員】

今後のこともあるんで、ぜひ活かして頂きたいと思います。

【加藤（裕）委員】

関連なんですけど、いま斎藤委員さんが仰ったと思うんですけど、園芸の方も全く同じなんですよね。９割補助で１割負担ということで事業に申し込んだのに、いざ事業が始まったらどんどん減らされて、撤去費用は幾らですって金額が決まっていて。すごく少ない金額で、その後にどんどん書類は増えるし、みんなすごい不満を持っていると思うんです。センターの方でそういう不満っていうのは、実際農家の人でやった人でどれくらいの人が不満を言ってきたのか、わかったら教えて欲しいと思います。私の方には結構、非常

に多くの方から不満がきているんですけど、センターの方へはいってないのかなと。私の方では非常に苦慮しているところです。
【圓城寺課長】
撤去費の上限単価設定により補助率が当初どおりとならず、ご説明させて頂いて進めている件は、約９０件ございます。
【加藤（裕）委員】
今回の件につきましては進んでいるためやむを得ないですが、これからも３０年に１回は災害がくるようなイメージを頭の中に持っているんですよ。ですから、十分、これから書類とかをもっと簡潔にして、農家のためになるべく早く手当てができるような体制をとってもらって頂きたいと思います。
【圓城寺課長】
書類については、県とも話しをしまして現状を説明、報告させて頂きたいと思います。それから、８月３日付で、台風シーズンの到来に伴う、農作物技術対策として農業組合長さん向けに書類を郵送させて頂いております。昨年の反省を踏まえまして、例えば施設の事前対策や事後対策。それから露地野菜や果樹、それから花卉の栽培に関する対策。また、昨年停電により大きな問題になりました発電機ですとか燃料の準備ということで、リース会社の名簿ですとか、給油所の名簿。併せて農業のセーフティーネットということで、農業共済への加入といった一連の関係資料をお送りさせて頂きました。農家の皆様に予めご準備を頂きたいということで今後も通知文、市のホームページ等でお知らせしていきたいと思っております。

議題６に係る会議経過については、千葉市情報公開条例第７条第２号に規定する情報（個人情報）が含まれているため、公表しておりません。

問い合わせ先
千葉市経済農政局農政部農政課
電話０４３－２４５－５７５７